

平成 27 年 3 月 25 日

一般国道 16 号（八王子バイパス）に係る業務実施計画の変更について（申請）

2 中「新設、改築又は修繕に係る工事の内容（）」の次に「特定更新等工事を除き、」を加え、「修繕に係る工事（機構）」を「修繕に係る工事（特定更新等工事を除き、機構）」に改める。

5 中「第 6 号」を「第 7 号」に改める。

別紙 1 を次のとおり改める。

修繕に係る工事の内容

別紙1

工事の内容

会社が行う高速道路の管理のうち、修繕に係る工事(特定更新等工事を除き、機構が会社からその費用に係る債務を引き受けるものに限る)で行う工事の内容は、以下のとおり。

ただし、固定資産について支出する金額で、

- ①当該資産の使用可能期間を延長させる(耐久性を増す)部分に対応する金額、
 - ②その支出の時ににおける当該資産の価額を増加させる(価値を高める)部分に対応する金額、
- の何れかに該当するものに限る。

(ただし、災害復旧に係る部分を除く。)

工事の内容

1. 橋梁修繕
2. トンネル修繕
3. のり面修繕
4. 土工修繕
5. 舗装修繕
6. 交通安全施設修繕
7. 交通管理施設修繕
8. 渋滞対策
9. 休憩施設修繕
10. 雪氷対策施設修繕
11. 震災対策
12. 環境対策
13. トンネル防災
14. のり面防災
15. 雪害対策
16. のり面付属物設置
17. 橋梁付属物設置
18. トンネル施設修繕
19. 電気施設修繕
20. 通信施設修繕
21. 建築施設修繕
22. 機械施設修繕

別紙2を次のとおり改める。

修繕に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

修繕に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

(消費税込み)

年度	債務引受限度額
H 1 8	11百万円
H 1 9	53百万円
H 2 0	8百万円
H 2 1	132百万円
H 2 2	43百万円
H 2 3	35百万円
H 2 4	32百万円
H 2 5	1百万円
H 2 6	117百万円
H 2 7	32百万円

(注1) 平成18年度から平成25年度までは実績値を記載している。

(注2) 上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

別紙4を次のとおり改める。

道路資産の貸付料の額

中日本高速道路株式会社に対する道路資産の貸付料

(消費税込み)

年度	貸付料				
		うち土地・家屋分	うち構築物等分		
				うち盛土・切土・ のり面構築物等分	うち橋梁・ トンネル等分
H18	(2,737百万円) 2,737百万円	(1,166百万円) 990百万円	(1,385百万円) 1,385百万円	(873百万円) 778百万円	(512百万円) 607百万円
H19	(2,745百万円) 2,754百万円	(1,217百万円) 1,037百万円	(1,445百万円) 1,450百万円	(911百万円) 815百万円	(534百万円) 635百万円
H20	(2,709百万円) 2,657百万円	(1,202百万円) 1,001百万円	(1,427百万円) 1,400百万円	(900百万円) 787百万円	(527百万円) 613百万円
H21	(1,819百万円) 1,745百万円	(804百万円) 654百万円	(955百万円) 915百万円	(602百万円) 514百万円	(353百万円) 401百万円
H22	(2,437百万円) 2,437百万円	(1,087百万円) 920百万円	(1,291百万円) 1,287百万円	(814百万円) 723百万円	(477百万円) 564百万円
H23	(2,163百万円) 1,821百万円	(815百万円) 683百万円	(1,139百万円) 955百万円	(640百万円) 537百万円	(499百万円) 418百万円
H24	(1,846百万円) 1,779百万円	(690百万円) 664百万円	(964百万円) 928百万円	(542百万円) 522百万円	(422百万円) 406百万円
H25	(1,798百万円) 1,785百万円	(671百万円) 714百万円	(939百万円) 998百万円	(528百万円) 561百万円	(411百万円) 437百万円
H26	(1,676百万円) 1,983百万円	(603百万円) 710百万円	(843百万円) 993百万円	(474百万円) 558百万円	(369百万円) 435百万円
H27	618百万円	225百万円	315百万円	177百万円	138百万円

(注1) 平成18年度から平成25年度までの上段()内は計画値、下段は実績値を、平成26年度の上段()内は計画値、下段は実績見込み値を記載している。

別紙5を次のとおり改める。

計画料金収入の額

中日本高速道路株式会社における計画料金収入

(消費税込み)

年度	計画料金収入
H 1 8	(3, 251百万円) 3, 265百万円
H 1 9	(3, 235百万円) 3, 276百万円
H 2 0	(3, 197百万円) 3, 113百万円
H 2 1	(2, 333百万円) 2, 236百万円
H 2 2	(2, 925百万円) 2, 902百万円
H 2 3	(2, 637百万円) 2, 268百万円
H 2 4	(2, 255百万円) 2, 165百万円
H 2 5	(2, 207百万円) 2, 172百万円
H 2 6	(2, 097百万円) 2, 425百万円
H 2 7	1, 284百万円

(注1) 平成18年度から平成25年度までの上段()内は計画値、下段は実績値を、平成26年度の上段()内は計画値、下段は実績見込み値を記載している。

別紙6を次のとおり改める。

【機構の収支予算の明細】

一の路線・一般国道16号(八王子バイパス)

[百万円(消費税込み)]

		未償還残高(期首)			会社からの引受け債務			収入			支出			収支差
		債務残高(期首) ^(注1)		出資金	有利子 借入金	社会資本 借入金	無利子 借入金	貸付料	占用料等	出資金等	管理費等	支払利息	無利子 貸付金	
		有利子 借入金	社会資本 借入金											
2006年度	平成18年度	20,147	0	0	11	0	0	2,737	1	0	134	319	0	2,285
2007年度	平成19年度	17,872	0	0	53	0	0	2,754	1	0	131	279	0	2,345
2008年度	平成20年度	15,580	0	0	8	0	0	2,657	1	0	129	233	0	2,296
2009年度	平成21年度	9,554	0	0	132	0	0	1,745	2	0	79	149	0	1,519
2010年度	平成22年度	8,166	0	0	43	0	0	2,437	1	0	116	116	0	2,206
2011年度	平成23年度	7,138	0	0	35	0	0	1,821	1	0	143	98	0	1,580
2012年度	平成24年度	5,583	0	0	32	0	0	1,779	1	0	85	77	0	1,617
2013年度	平成25年度	3,998	0	0	1	0	0	1,785	21	0	87	50	0	1,669
2014年度	平成26年度	2,226	0	0	138	0	0	1,983	1	0	138	21	0	1,825
2015年度	平成27年度	539	0	0	32	0	0	618	1	0	44	4	0	571
2016年度	平成28年度	0	0	0										
計					485	0	0	20,316	30	0	1,087	1,345	0	17,913

(注1) 上表の債務残高は「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律(昭和33年法律第34号)」に基づく高速道路利便増進事業のため、平成20年度において一般会計に承継した機構債務を反映し、平成22年度、平成23年度及び平成25年度において高速道路利便増進事業の計画変更に伴い見直しを行っている。

(注2) 平成18年度から平成25年度までは実績値を、平成26年度は実績見込値を記載している。

(注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

添付書類

- 別添 1 一般国道 16 号（八王子バイパス）に関する協定
- 別添 2 貸付料及び貸付期間算出の基礎を記載した書類
- 別添 3 推定交通量及びその算出の基礎を記載した書類